



地球環境時代における木造建築 の可能性：日本と世界の試みから 武松幸治 | 小見山陽介 | 中島浩一郎

木材利用促進セミナーVol.9 / 2019年11月8日(金) 14:00~17:00 / 綿業会館・大阪

主催：JIA環境会議・JIA近畿支部環境委員会 / 協賛：ジャパン建材株式会社、株式会社キーテック、秋田グルーラム株式会社、物林株式会社、株式会社MIYAMORI

新豊洲Brilliaランニングスタジアム / 撮影：ナカサアンドパートナーズ

2019

11/8 Friday (金)



木材利用促進セミナーVol.9 CPD認定プログラム(3単位)申請中

講演会+パネルディスカッション 地球環境時代における木造建築の可能性： 日本と世界の試みから

時間：14:00-17:00 (13:30開場)、
懇親会17:00-18:00

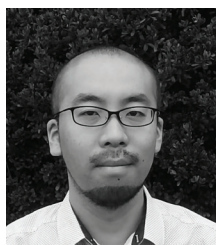
会場：綿業会館 新館7階 大会場
参加費：1000円、学生は学生証提示で無料
定員：200名 (申込先着順) 申込締切10/31(木)



基調講演：近作について

武松幸治 (E.P.A環境変換装置建築研究所)

1963年長崎県生まれ。多摩美術大学美術学部建築科卒。1987年株式会社ユニテ設計・計画。1991年環境変換装置建築研究所一級建築事務所設立。環境配慮型建築プロジェクトを多く手がける。近年は大規模木造建築に力を入れ、非営利公益法人不燃化技術研究組合を設立し、都市の耐火木造化に取り組む。「新豊洲Brilliaランニングスタジアム」で2019年度日本建築学会賞(作品)を受賞。



話題提供 1：欧州における中大規模木造建築の最新動向

小見山陽介 (京都大学)

1982年群馬県生まれ。東京大学建築学科卒業。ミュンヘン工科大学留学を経て、東京大学大学院建築学専攻修了。2007年から2014年までロンドンの設計事務所Horden Cherry Lee Architectsに勤務、CLTによる7階建て集合住宅の設計に携わる。帰国後はCLT建築設計や共同研究のほか継続的に海外調査を行う。作品に「榛名神社奉納額収蔵庫&ギャラリー」、著書に『CLTの12断面』など。現在、京都大学大学院助教。



話題提供 2：真庭市におけるSDGs未来都市と木造建築

中島浩一郎 (銘建工業)

1952年生まれ。銘建工業代表取締役社長のほか、日本CLT協会会長、真庭バイオマス発電社長を務める。真庭バイオマス発電は、銘建工業が位置する真庭地域の林業関係団体や市と共同出資で2015年に完成。地域の木くずからできた電気は、市内の公共施設へも供給され、電気の地産地消を実現。真庭市は、持続可能な開発目標(SDGs)達成に向け優れた取り組みを行う都市として全国10事業の「自治体SDGsモデル事業」に選定されている。

パネルディスカッション：地球環境時代における木造建築 (上記登壇者+JIA近畿支部環境委員会)

主催：公益社団法人日本建築家協会環境会議、同近畿支部環境委員会

協賛：ジャパン建材株式会社、株式会社キーテック、秋田グルーラム株式会社、物林株式会社、株式会社MIYAMORI

企画：小見山陽介(京都大学大学院建築学専攻 助教)

お申込み方法：

お名前、所属、ご連絡先(電話番号又はメールアドレス)を明記の上、下記にメール又はFAXにて10月31日(木)までにお申し込みください。

(公社)日本建築家協会 本部事務局

北沢将司(Shoji Kitazawa)

FAX: 03-3408-7129

Mail: skitazawa@jia.or.jp

お問い合わせ：

Tel:03-3408-7125 (JIA館4階、北沢)

JIAホームページ: <http://www.jia.or.jp>

※本イベントは後日Youtube等のメディアや、活字媒体等に公開される場合があります。



地下鉄御堂筋線「本町」駅 1番出口または3番出口より徒歩5分

地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅 17番出口または12番出口より徒歩5分